

II 低炭素社会の形成

1 小平市地域エネルギービジョンの概要

エネルギー需要のあり方や地球温暖化防止に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくことを目的に、平成 21（2009）年 2 月に、小平市地域エネルギービジョンを策定しました。さらに、策定後の社会状況や環境の変化を踏まえ、平成 28（2016）年 3 月に取組の再構築を図るなどの中間見直しを行いました。計画期間は、平成 21（2009）年度から令和 2（2020）年度までの 12 年間です。

小平市第二次環境基本計画における地球温暖化対策のための部門別計画として位置づけており、市のめざす環境像の実現に向けて、エネルギー政策上の基本理念を以下のとおりとします。

～小平市のエネルギー政策の基本理念～

緑の豊かさを基調としながら、
次世代の子どもたちへつなぐ低炭素社会づくり

小平市は、首都圏の近郊にありながら、現在も多くの自然空間を有しており、緑の保全や市民に親しまれる小平グリーンロードの整備等に積極的に取り組んでいます。

小平グリーンロードに代表されるような緑は、二酸化炭素を吸収する役目だけではなく、わたしたちに潤いを与え、さらに空調負荷を軽減する冷却効果もあることから、この豊かな緑を活かし、次世代の子どもたちに緑豊かなまち小平を引き継ぐことができる、低炭素の社会づくりを推進していきます。

2 施策の体系（中間見直し後）

市がめざす環境像、市のエネルギー政策の基本理念の実現に向けて、3つの基本方針のもと、取組を進めていきます。

基本方針 1：限りある資源を大切に使う

基本方針 2：緑化と調和したエネルギー負荷の少ない都市づくり

基本方針 3：環境マインド・アクションの高い人づくり（人と人をつなぐ）

【中間見直し後の施策の体系】

めざす環境像

循環・調和・協働の「わ」を大切に みんなで気持ちよく暮らせるまち こだいら

基本理念

緑の豊かさを基調としながら、次世代の子どもたちへつなぐ低炭素社会づくり

基本方針

- ①限りある資源を大切に使う
- ②緑化と調和したエネルギー
負荷の少ない都市づくり
- ③環境マインド・アクション
の高い人づくり (人と人とをつなぐ)

【重点プロジェクト】

- ①市民版環境配慮指針の普及拡大（環境家計簿の推進）
- ②緑のカーテンによる省エネ及び緑の創出
- ③公立学校給食や市民への地産地消の推進
- ④バイオマスの利用による発電や熱利用及び堆肥化
- ⑤公共施設への太陽光発電システムの導入
- ⑥市民・事業者に対する新エネルギー機器設置費助成
- ⑦市民植樹事業の普及拡大
- ⑧ノーカーデーの実施
- ⑨低公害車・低燃費車への買い替え
- ⑩環境学習（講座、講演会等）の充実

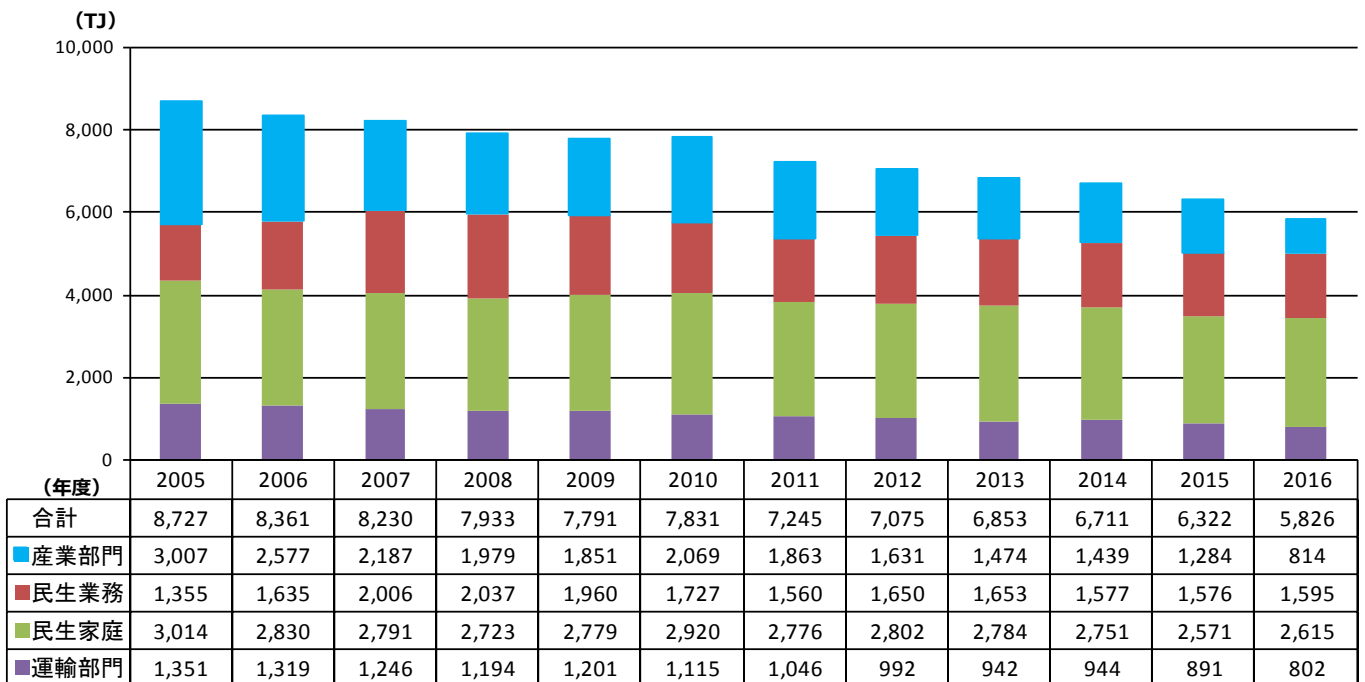
【その他の取組】

- 1. 環境共生住宅の普及
- 2. 省エネ診断・省エネ研修会の普及
- 3. 室内の温度設定の徹底
- 4. 省エネ診断及びESCO事業の導入
- 5. フィフティ・フィフティ制度の導入
- 6. 市民出資型による太陽光発電システム設置の検討
- 7. 市民参加による森林の整備
- 8. 保存樹林などの公有地化の検討
- 9. 公共施設駐車場の有料化による自動車利用抑制の検討
- 10. エコドライブの普及啓発
- 11. エコポイント制度の検討
- 12. 家電製品などの省エネルギー機器の普及拡大
- 13. グリーン電力証書制度の活用
- 14. ホームページや省エネカレンダー等による情報の発信
- 15. 環境配慮事業者連絡会の充実
- 16. 大学との連携による普及啓発

3 小平市地域エネルギービジョンの推進

(1) 小平市のエネルギー消費量

平成 28 (2016) 年度のエネルギー消費量は、5,826 テラジュールで、基準年度である平成 17 (2005) 年度の 8,727 テラジュールに比べると約 33.2%の減少となっています。



(出典：オール東京 62 市区町村共同事業資料)

小平市のエネルギー消費量の推移

(2) 環境配慮事業者連絡会（平成 19 (2007) 年度～）

市内の事業者が環境に配慮した取組に関する相互の意見を交換し、省エネ対策による経費削減や温室効果ガスの削減を目指し、連絡会を開催しています。

平成 30 (2018) 年度は、連絡会を 1 回開催する中で、国、都の環境施策に関する情報共有や各種イベントの案内、事業者間の意見交換を実施しました。

【連絡会参加事業者 16 事業者（平成 31 (2019) 年 3 月現在）】

アサ電子工業株式会社	株式会社大東建興
株式会社旭エンジニアリング	東京ガス多摩ライフバリュー株式会社
株式会社小川工営	東京むさし農業協同組合小平支店
光洋電子工業株式会社	パンピー食品株式会社
小平市役所	株式会社日立国際電気
小平商工会	学校法人武蔵野美術大学
学校法人白梅学園	有楽製菓株式会社
西武バス株式会社小平営業所	ルネサスエレクトロニクス株式会社武蔵事業所

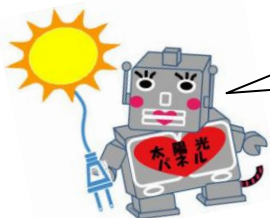
(3) 公共施設への太陽光発電システムの設置

平成 30 (2018) 年度末では累計 38 施設、発電出力 473.8 kW の設備が設置され、発電電力量は、507,271 kWh となり、約 141 世帯分の年間電力消費量にあたります。二酸化炭素排出量に換算すると約 189,719 kg 削減したことになります。

※一世帯あたりの平均電力消費量約 3,600 kWh/年（電気事業連合会資料）

【太陽光発電システム設置済施設（平成 31（2019）年 3 月 31 日現在）】

設置年度	設置施設名	発電出力	設置年度	設置施設名	発電出力
2001	花小金井南地域センター・児童館	4kW	2013	小平第四小学校	20kW
2002	大沼保育園	4kW		小平元気村おがわ東	16kW
2006	小川町二丁目地域センター・児童館	4kW	2014	東部公園プール管理棟	8kW
	東部市民センター	6kW		なかまちテラス	5kW
2009	市庁舎	10kW	2015	小平第七小学校	20kW
	花小金井小学校	10kW		小川西保育園	10kW
	子どもキャンプ場トイレ	2kW		小川公民館	12kW
2010	小平第一小学校	20kW	2016	上宿図書館	11kW
	小平第九小学校	20kW		大沼地域センター	11kW
	小平第十二小学校	20kW		市民総合体育館	15kW
	小平第十三小学校	20kW		小平第二小学校	20kW
	学園東小学校	20kW	2017	十小学童クラブ第三	10kW
	小平第一中学校	20kW		鈴木地域センター	11kW
	小平第二中学校	20kW		天神地域センター	10kW
	花小金井南中学校	5kW		小平第十小学校	4kW
健康センター	10kW	上宿小学童クラブ第二	4kW		
2012	小川町一丁目地域センター・児童館	30kW	2018	学園東町地域センター	5kW
	中央図書館	20kW		リサイクルセンター	25kW
	小平市消防団第三分団詰所	1.8kW			
	小平第五小学校	10kW			



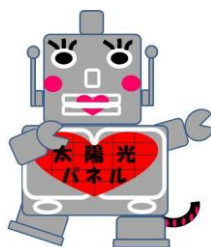
太陽光発電システムの導入を進めているよ！



学園東町地域センター



リサイクルセンター

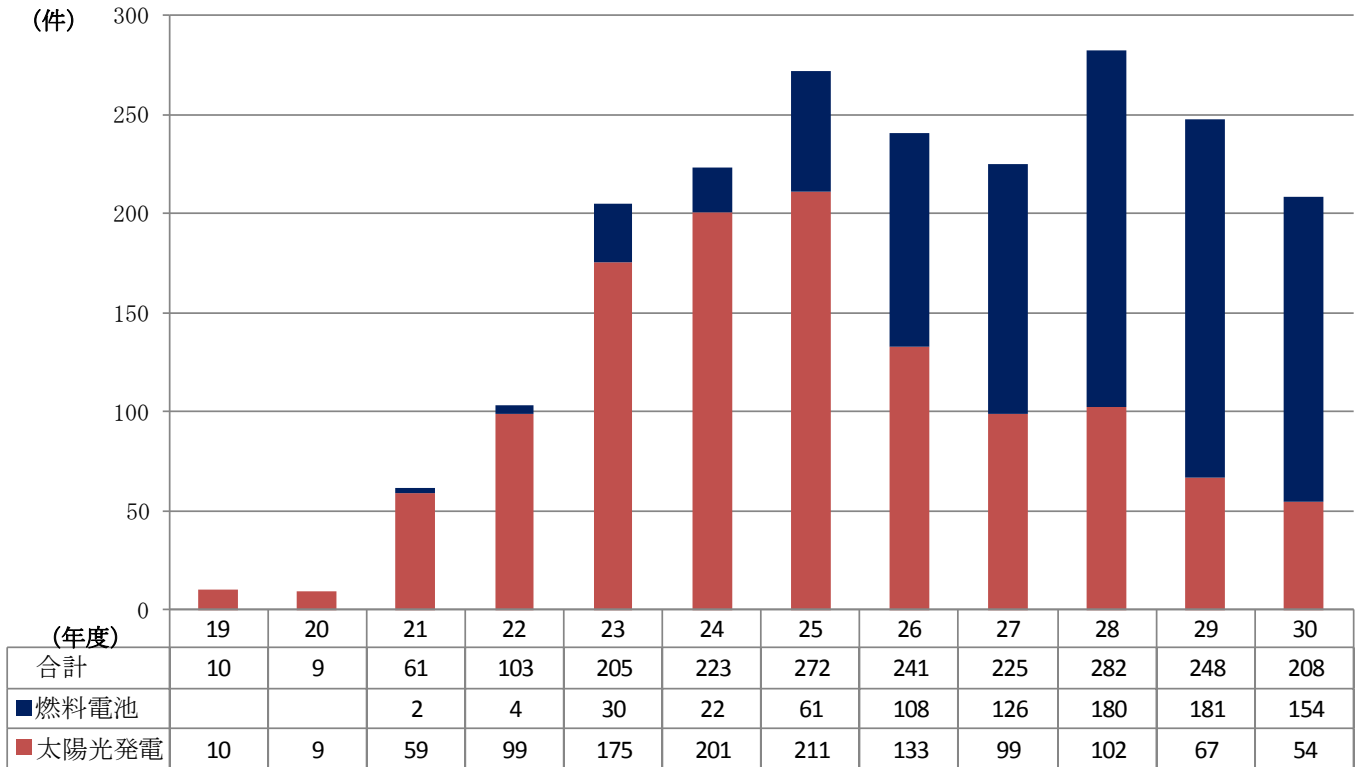


小平市太陽光発電イメージキャラクター ソラミ

色々なイベントに参加して太陽光発電のPRをしているよ。

(4) 新エネルギー機器設置モニター助成制度（平成 19（2007）年度から実施）

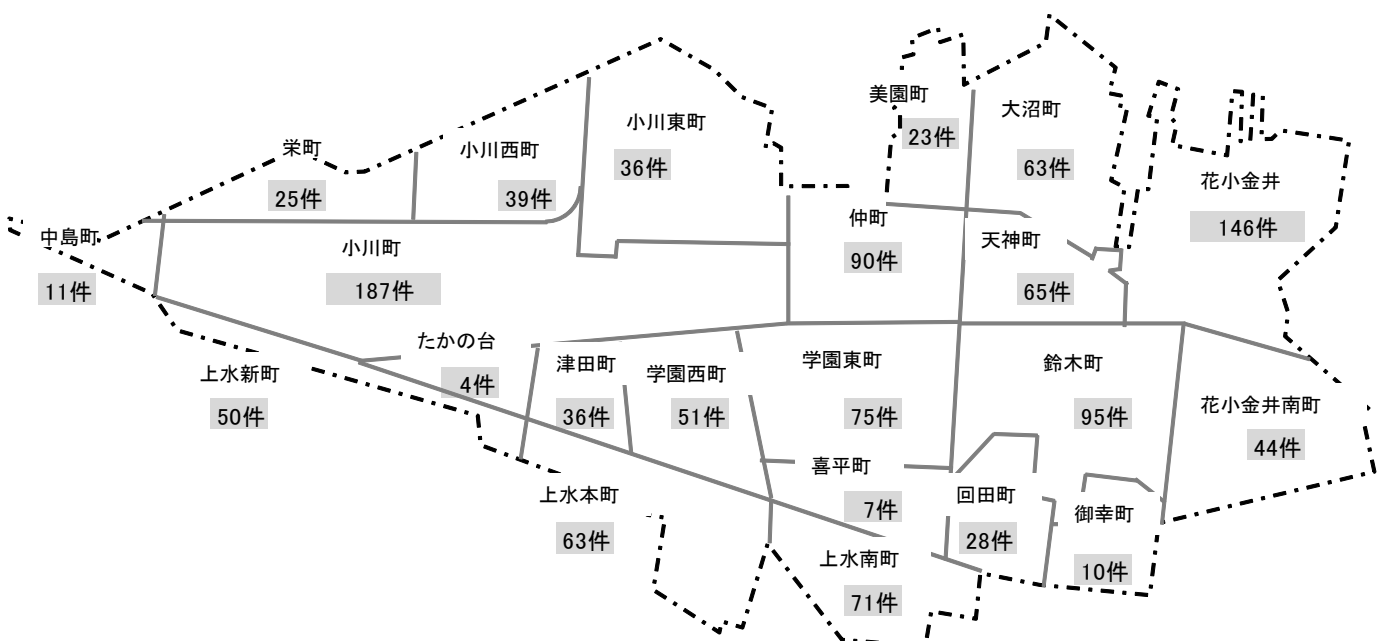
太陽光発電システム、燃料電池を設置する市民・事業者などに設置費用の一部を助成しています。



新エネルギー機器設置モニター助成件数の推移

【太陽光発電システム助成実績】

総件数	1,219 件
総発電出力合計	4,579.9 kW（一世帯平均 3.75kW）
設置費用平均	2,010,815 円（税込）



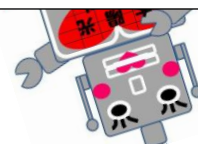
太陽光発電システム町別助成件数

4 第二次エコダイラ・オフィス計画の推進

(1) 第二次エコダイラ・オフィス計画

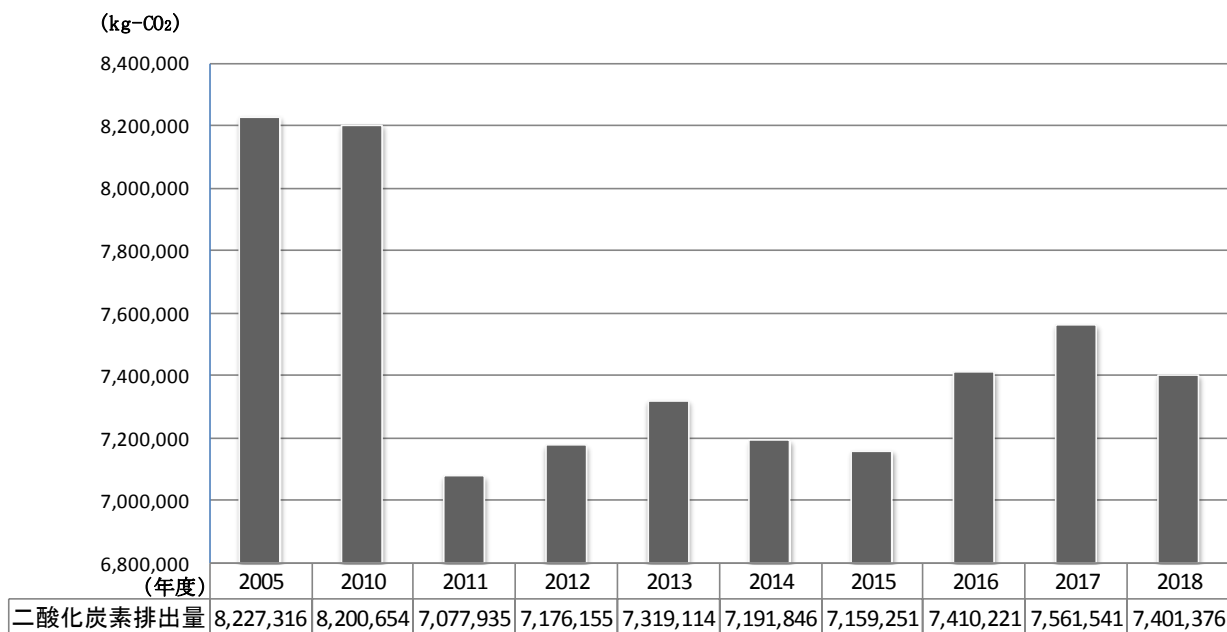
平成9（1997）年に京都議定書が採択され、日本は温室効果ガスの総排出量を6%削減する目標が掲げられました。この目標を達成するための国の取組に合わせ、市においても、平成14（2002）年度に、市職員が自ら実施する事務事業に伴う環境への負荷を低減するための環境率先行動計画と地球温暖化防止計画の二つの性格を併せ持つエコダイラ・オフィス計画を策定し取組を進めてきました。

この進捗状況及びその後策定された小平市ごみ処理基本計画（改訂）や小平市地域エネルギービジョンなどを踏まえ、市内の事業者として、さらに自ら率先して、廃棄物の減量、二酸化炭素等の温室効果ガスの削減や環境負荷の低減に積極的に取り組むために、平成22（2010）年3月に第二次エコダイラ・オフィス計画を策定しました。計画期間は平成22（2010）年度から令和2（2020）年度までの11年間です。



(2) 市の公共施設の二酸化炭素排出量

平成30（2018）年度の二酸化炭素排出量は、7,401,376 kg-CO₂で、基準年度である平成17（2005）年度の8,227,316 kg-CO₂に比べると10.0%の減少となっています。



小平市の公共施設の二酸化炭素排出量の推移

(3) カーボン・マネジメント強化事業

環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業）、補助率10分の10を活用し、「カーボン・マネジメント強化事業」を実施することでエコダイラ・オフィス計画の更なる強化・拡充に着手しました。

【主な実施内容】

①省エネルギー診断

市内の公共施設 8 施設を選定し、空調設備、照明設備等の仕様・運転状況についてより詳細な調査を行い、実現可能な省エネ対策について省エネ効果やエネルギー使用量の削減の可能性を推計、試算しました。

②エネルギー・温室効果ガス集計管理システムの構築

これまで、各施設のエネルギー使用量を手作業でひとつひとつ確認しながら集計し、二酸化炭素排出量を算出、報告、公表を行っていました。この事務作業を簡略化するシステムを構築し、より分析、改善等に注力することができます。

③現行計画の推進状況の点検・改善

職員に対し、第二次エコダイラ・オフィス計画の更なる取組の強化を浸透させるため、職員ハンドブックを作成し、配布しました。

④次期計画における温室効果ガス削減目標の検討

国の目標値を踏まえ、令和 12 (2030) 年度における温室効果ガス排出量 (平成 25 (2013) 年度比) の削減シミュレーションを行い、次期計画の策定を進めることとしました。



(4) 夏至ライトダウン、クールアース・デーライトダウン

環境省では、平成 15 (2003) 年度から地球温暖化防止のため、ライトアップ施設や家庭の照明を消していただくよう呼びかける、「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」を実施するとともに、夏至の日 (夏至ライトダウン) と七夕の日 (クールアース・デーライトダウン) 両日の午後 8 時から午後 10 時までの 2 時間を特別実施日として設定し、全国のライトアップ施設や各家庭の照明の一斉消灯を呼び掛けています。

この取組に合わせ、市では率先して、庁舎や各公共施設で一斉消灯を行うとともに、市民の皆様や市内事業者に対して、ライトダウンキャンペーンの周知を図っています。



【実施日】

平成 30 (2018) 年 6 月 21 日 (木)、7 月 7 日 (土)

(5) 打ち水日和 in こだいら

東京都では、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の暑さ対策として、また、地球温暖化対策の適応策としても、涼を得るための江戸の知恵である「打ち水」が、東京のおもてなしとして定着することを目指し、都内各所で打ち水を繰り広げるイベント「打ち水日和」を実施しています。小平市でもこの取組に賛同し、暑さ対策の気運醸成を図るために「打ち水日和 in こだいら」を開催しました。



当日は、同日市庁舎で開催した親子環境教室の参加者をはじめ、多くの市民の皆様に参加いただきました。

【実施日】

平成 30 (2018) 年 8 月 6 日 (月) 庁舎正面玄関前

(6) 庁内環境美化週間

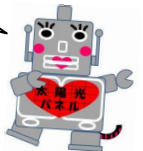
市では、「きれいなまちはわたしたちの手で」を合い言葉に、自治会等の地域住民が年間を通して清掃活動を実施しています。特に「環境美化週間（ごみゼロデーの前後 1 週間）」及び「みんなでまちをきれいにする週間（10 月 1 日から 10 月 7 日）」を設定し、環境美化活動を重点的に行っています。

この取組に合わせ、市職員も、第二次エコダイラ・オフィス計画に基づき、「廃棄物の発生抑制」及び「紙使用量の削減」の取組について強化し、ごみの減量を図るとともに、執務室の整理整頓を行いました。



【実施期間】

平成 30 (2018) 年 5 月 27 日 (日) ~6 月 10 日 (日) 及び 10 月 1 日 (月) ~10 月 7 日 (日)



(7) エコダイラ・オフィスニュースの発行

平成 22 (2010) 年 3 月の「第二次エコダイラ・オフィス計画」の策定後、計画の目的に沿って、職員一人ひとりが率先して環境に配慮した取組を実践するよう、職員の意識向上を図るため、平成 23 (2011) 年 4 月 1 日から職員向けにエコダイラ・オフィスニュースを発行しています。

平成 30 (2018) 年度は、「環境美化活動報告」、「みんなでまちをきれいにする週間についての報告」、「夏季の節電対策の報告」、「エコドライブシミュレータ体験会結果」、「庁用車エコドライブ推進キャンペーン結果」、「ふろしきの活用報告」の内容について、ニュースを発行しました。



【発行回数】

平成 30 (2018) 年度 6 回 (No. 22~27)

5 環境に配慮した自動車利用の促進

(1) 冬期自動車使用抑制キャンペーン

市における大気環境（汚染）は、東京都のディーゼル車規制等により二酸化窒素や浮遊粒子状物質等について一定の改善傾向がみられますが、光化学オキシダントなど改善されていない物質もあります。特に冬場は二酸化窒素濃度が高まる時期であり、その主な原因は自動車からの排出ガスと考えられています。市では環境負荷低減の啓発と冬期における大気環境の改善を目的として、毎年 11 月から 1 月末日までの期間、「冬期自動車使用抑制キャンペーン」を実施しています。

(2) 週に一度は乗らないデー

市報、ホームページ、のぼり旗等で「週に一度は乗らないデー」や「エコドライブ」を呼びかけました。

また、庁内においても、水曜日の庁用車使用を原則禁止とし、冬期における大気環境の改善を目指しています。



東部出張所及び西部出張所に

「取り組もう！誰でもできる eco 運転」ののぼり旗を掲出（写真）

【週に一度は乗らないデーの庁用車使用状況（11月から翌1月の期間中）の推移】

年度	2014	2015	2016	2017	2018
使用回数	655	627	617	682	681

(3) エコドライブ実践の取組

エコドライブの周知及び技術向上のため、職員を対象とした「エコドライブシミュレータ体験会」を行い、庁用車の燃費改善に取り組みました。

【平成30（2018）年度 エコドライブシミュレータ体験会（庁内）】

日時	12月6日（木）10時～12時 12月7日（金）10時～12時、14時～16時
場所	小平市役所
参加人数	18人



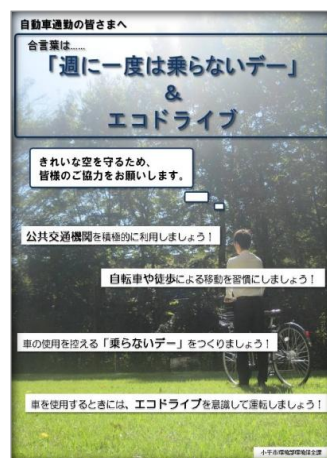
エコドライブシミュレータ

(4) その他の啓発活動

冬期自動車使用抑制キャンペーン中は、「エコドライブ10のすすめ」、「週に一度は乗らないデー」、「燃費改善事例」の各ポスターを庁内及び市内公共施設に掲示しました。



「エコドライブ10のすすめ」
小平市版ポスター



「週に一度は乗らないデー」ポスター



「燃費改善事例」ポスター